



第2期永田市政 スタート 「安心・快適で元気な清須」の実現へ

7月18日(日)執行の清須市長選挙は無投票となり、現職の永田純夫市長が再選し、2期目のスタートを切りました。

就任あいさつ

このたび、引き続き清須市長として市政の重責を担わせていただくこととなりました。市民の皆様からお寄せいただきました信頼と期待にお応えできるよう、「安心・快適で元気な清須」の実現のために全力を尽くしてまいります。



さて、昨年1月に国内で初めて新型コロナウイルス感染者が確認されてから、感染が全国に拡大し、未だ収束の見通しが立たない状況であります。ワクチン接種を始めコロナ対策に全力で取り組むと同時に、本市を更に成長・発展させるため、アフターコロナの時代を見据えて、次を生み出す施策も行っていかなければなりません。

安全で安心に暮らせるまちづくりを目指し、五条川右岸に指定避難所及び防災資器材等備蓄施設としての機能を有する防災センターを整備するための設計業務に着手します。また、指定避難所を兼ねる市内全小中学校の体育館に、より良い環境が確保できるよう空調設備を整備するための設計業務を行い、令和4年度中に工事完了ができるよう進めてまいります。

令和2年、本市は出生率で県内1位に返り咲き、人口も微増傾向にあります。引き続き、住環境を整備しつつ、子育てしやすいまちづくりを目指し、高校卒業までの入院医療費の無償化を早期に実現するとともに、令和4年4月の開園に向けて、市内に民間小規模保育事業者を誘致するなど、引き続き待機児童ゼロを維持してまいります。また、便利で快適に暮らせるまちづくりを目指して、名鉄名古屋本線新清洲駅付近鉄道高架事業や、現在4か所で行われております区画整理事業につきましても、早期の完了を目指してまいります。

そして、これまでのまちづくりの歩みをとめることなく、第2次総合計画の後期基本計画で掲げる政策・施策の推進にスピード感をもって取り組み、「力強い清須」の実現に向けて全力を尽くしてまいりますので、引き続き市政に対するご理解とご協力をお願いいたします。

清須市長 永田純夫